

そのけんニュース

発行 自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

衆議院議員

そのうら けんたろう
藺浦 健太郎

平成28年(2016年)
No.28-特別号
討議資料

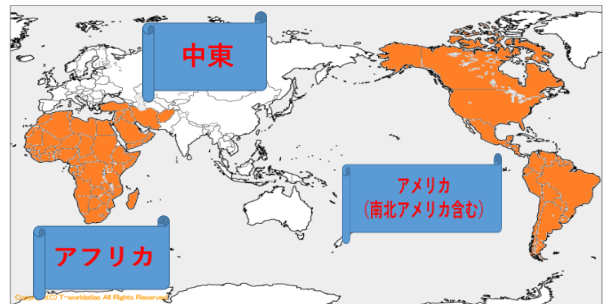
外務副大臣就任

平成28年8月に発足した第3次安倍第2次改造内閣において、外務副大臣を拝命いたしました。

外務省では、**北米、中南米、中東、アフリカ**を担当します。その他、海外の邦人の安全を確保する領事局、企業の海外展開を支える経済局、対外情報発信を担う報道・広報文化部、核軍縮に取り組む**軍縮不拡散・科学部**も担当いたします。

私は、先の外務大臣政務官当時、様々な国際会議や、各要国首脳との会談を通じ、国益に資する外交の経験を積んでまいりました。この貴重な経験を糧に、**一層身を引き締め、職務に全力で精励してまいります。**

今後ともご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



長崎訪問

8月9日、被爆71周年長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典に安倍総理と共に出席いたしました。このような悲惨な経験を二度と繰り返さないよう哀悼の誠を捧げ、不戦の誓いを新たにして参りました。

式典後、安倍総理・塩崎厚生労働大臣とともに、「**原爆者団体から要望を聞く会**」に出席し、被爆者代表の方々との話し合いをさせていただきました。その後、長崎原爆資料館を視察しました。



第2次補正予算 成立

10月11日、新たな経済対策を実行するための経費を盛り込んだ、今年度の第2次補正予算案は、参議院本会議で採決が行われ、自民・公明両党などの賛成多数で、可決・成立いたしました。その概要をご報告いたします。

1.熊本地震や東日本大震災の復興支援費・・・1兆9688億円

2.「1億総活躍社会」実現のための関連経費・・・7137億円

3.「21世紀型のインフラ(社会基盤)整備」・・・1兆4056億円



1.熊本・東日本大震災からの**一日も早い復旧・復興**のために、道路や港湾の整備を加速させると共に、防災・減災対策等の推進を積極的に行いながら、途切れることのない復興基金の創設を支援します。



2.さらなる**一億総括活躍の実現加速**に向け、子育て・介護の環境整備、若者への支援の拡充、女性活躍の推進を図ります。また、社会全体の所得と消費の底上げを図り、一人一人が活躍できる社会を作ります。



3.外国人観光客 4000 万人を見据えた、投資を行います。寄港需要の増加に伴う既存岸壁の改良を実施します。また、農林水産物の輸出促進と農林水産業の競争力強化・リニア中央新幹線の整備加速・インフラなどの海外展開支援・生産性向上へ向けた取り組みを加速させ、**景気向上**を目指します。

衆議院議員

外務副大臣

藺浦 健太郎

主な役職

子供の貧困対策推進協議 事務局長
同一労働・同一賃金検証プロジェクトチーム 事務局長
自民党スポーツ立国調査会 副幹事長
自民党雇用問題調査会 事務局次長
憲法改正推進本部 事務局長補佐

自由民主党千葉県第五選挙区支部

〈地元事務所〉
〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203
Tel: 047-318-1001 fax: 047-336-8801
〈国会事務所〉
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館321
Tel: 03-3581-5111 (代表) 内線: 50321
Tel: 03-3508-7305 (直通) fax: 03-3508-3305

アメリカ訪問

9月13日～15日まで、米国のワシントン D. C. を訪問し、政府関係者、連邦議員との間で意見交換を行いました。

1 政府関係者

ケニー国務長官特別顧問、パターソン近東担当国務次官補、シェアー国防筆頭副次官とそれぞれ会談し、北朝鮮による核実験への対応を含む東アジア情勢、中東情勢、日米協力について意見交換を行い、**両国の更なる関係強化**に取り組むことで一致しました。



ケニー国務長官特別顧問



パターソン近東担当国務次官補

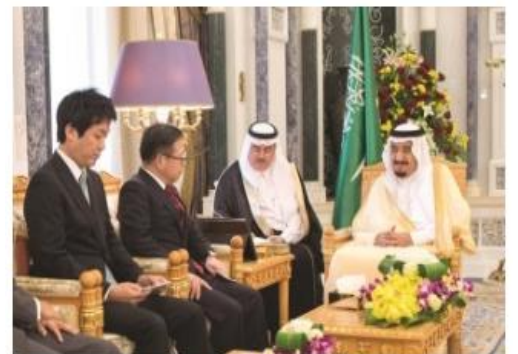
2 連邦議員

ガードナー上院議員(共和党・コロラド州)、タカノ下院議員(民主党・カリフォルニア州)、カストロ下院議員(民主党・テキサス州)とそれぞれ会談し、北朝鮮を巡る問題、アジア情勢、日米韓の協力、TPP、米国内政等について協議し、**引き続き両国の共通の課題に連携して取り組んでいく**ことで一致しました。

サウジアラビア訪問

10月9日、リヤドで開催された「**日・サウジ・ビジョン2030 共同グループ閣僚級会合／第12回日・サウジ合同委員会**」に参加した他、サルマン国王及びムハンマド副皇太子兼国防大臣をはじめとする同国政府要人(王族)と会談しました。

会談では、エネルギー分野に限られない幅広い経済関係を構築すること、投資協定の発効により投資の保護・促進を図ること、数次査証の発給により両国の人的交流を推進すること、等について一致しました。



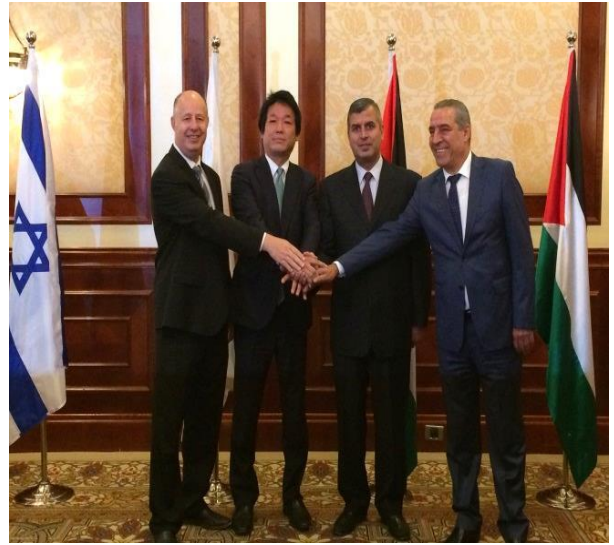
サルマン国王への表敬

中東和平の実現に向けて

9月6日、イスラエル、パレスチナ、ヨルダンの閣僚と、パレスチナ経済を共同で支援するプロジェクト(ジェリコ農産加工団地)の閣僚会議を主催しました。この会議では、和平交渉が停滞する中、日本の提案によって、イスラエルとパレスチナの閣僚が**約2年ぶり**に公の場で顔を合わせました。

私は、議長として会合後の会見で、「こうした協議の積み重ねが、対立する者の信頼醸成につながり、必ずや和平を実現できる。ジェリコ農産加工団地の一層の発展のため、4者の協力関係を強化していく。」旨、表明しました。

経済・社会支援を通じて和平実現の環境を整える日本独自の取組みとして、本プロジェクトの成功に向けて尽力していきます。



イラン・イスラム共和国訪問

● アラグチ法律・国際問題担当外務次官との会談

イランの核問題の解決は、中東地域の安定に不可欠です。会談では、昨年7月の核合意の着実な履行に向けて協力していく旨を伝えるとともに、日イラン経済関係の更なる拡大に向けて協力していくことで一致しました。



<アラグチ法律・国際問題担当外務次官との会談>

● ボルジェルディ国会安保外交委員長との会談

両国の経済関係強化のため、イラン側から「日イラン投資協定」の早期承認に尽力するとの発言があった他、医療、環境、麻薬対策等の分野における協力について協議しました。また、中東情勢や東アジア情勢についても議論し、地域の諸問題の解決に向けて双方が協力していくことで一致しました。



<ボルジェルディ国会安保外交委員長との会談>